APIの契約とキーを準備する

アプリの利用料と、外部サービスのAPI利用料は別です。

OpenAI APIとGemini APIのどちらかを用意します。ChatGPT Plus / Pro、Google AIの月額プランを契約していても、APIの課金・利用上限が自動で同じになるとは限りません。API側のプロジェクト、請求設定、残高、利用可能モデルを確認してください。

キーをチャット・画像・公開リポジトリへ貼り付けないでください。API側で利用上限を設定し、漏えいしたキーは失効して再発行します。入力欄は秘密情報なので、操作画面を共有するときも伏せます。

OpenAI APIキーの管理 →

OpenAI APIの料金と課金 →

Gemini APIキーの取得 →

Gemini API料金 →

生成AIのキーを接続する

生成AI欄で1社のキーを接続し、モデルと状態を確認します。

AI設定の専用欄へキーを入力します。OpenAIのキーはsk-で始まります。キーはページ内メモリだけに保持し、再読み込みで消えます。旧版の保存設定からキーを復元しません。

OpenAIの既定はgpt-6.1-solです。モデル選択欄で料金・説明を確認し、選択モデルと採用モデルの違いを表示で確認します。利用不可時は設定された下位候補へ切り替わる場合があります。

Gemini文章処理の候補はgemini-3.8-flash、gemini-3.6-flash、gemini-3.5-flash-lite、gemini-3.1-flash-liteです。画像生成用モデルを文章処理用の候補と混同しないでください。

APIの従量料金は入力・出力量、モデル、再試行で変わります。画面の参考価格は確認日時付きの目安です。最新条件は公式料金ページで確認してください。

XのBearer Tokenを設定する

X連携は任意です。X契約と生成AIの契約は別です。

X Developer Consoleの対象アプリのKeys & TokensからBearer Tokenを確認・発行します。Consumer KeyやSecret、OAuth 1.0aのAccess Tokenの組ではなく、公開データ読み取り用のBearer Tokenを使います。

ローカル起動し「Xを使う」を選んで専用欄へ設定します。キー入力だけではX通信を開始しません。「Xを使わない」では接続済みでもXへ通信しません。公開GitHub PagesにはX設定パネルを出しません。

Xトークンはページ内メモリだけに保持します。X APIへだけ送り、生成AIや保存レポートへ含めません。作者の共有認証や共有中継サーバーは使いません。

X Developer Console →

X認証の公式資料 →

X取得とエラー・費用の確認

取得件数、追加情報、利用可能なAPI権限を確認します。

X検索はRecent Searchを1検索1リクエストで実行します。自動ページ送り・巡回・再試行はありません。同条件は5分以内の結果を再利用する場合があります。検索結果は全投稿の網羅や人気順を保証しません。

投稿者情報を取得する設定は、追加のAPI利用に影響します。画面の参考上限額は概算で、実際の件数や契約によって請求は異なります。生成AIの料金は別です。

Xの残高・権限不足や0件は、その原因を表示します。公開Web成功でX失敗を隠しません。通信失敗、認証、利用上限の原因を解消してから再実行してください。

X検索の公式資料 →

X料金の公式資料 →

AI通信を強制切断する

思考待ち・応答受信中の通信と後続処理を止めます。

APIキー未接続では、緊急停止と専用余白を表示しません。キー接続後は分析開始前も画面右上（上20px・右12px）に固定し、上部の専用余白でヘッダーやモデル設定との重なりを避けます。処理中だけ押せ、待機中と中断済みは非活性です。

モデル説明・料金は選択欄の下で折り返します。長い説明が出てもヘッダーを横へ押し広げません。処理画面や作業中の設定画面でも、実行中の緊急停止へ届きます。

中断すると実行中の通信、後続のモデル切替・自動修正を止め、遅れて届く結果は採用しません。入力、接続済みのキー、採用済みの結果は保持します。

再実行は通常の生成・AI提案ボタンから始めます。前の処理の遅延結果は新しい実行へ混ぜません。

> 中断前に発生したAPI利用料金の返金を保証するものではありません。